

住宅改修が必要な理由書（その1）

＜基本情報＞

利用者	被保険者番号		年齢	歳	生年月日	年	月	日	性別	☐ 男 ☐ 女
	被保険者氏名				要介護状態区分等					
	住 所									

正確な情報を記載する。不足

書き方

作成者	現地確認日	年月日	作成日	年月日
	所属事業所			
	資格	（作成者が介護支援専門員でないとき）		
	氏 名			
	連 絡 先			

保険者	確 認 日		評 価 欄	
	氏 名			

利用している福祉用具について、改修前・改修後にチェックを入れ

＜総合的状況＞

利用者の身体状況	●立ち上がりやバランスの保持、移動方法といった生活動作に関する身体状況を記載する。 ●疾病が身体状況に影響している場合は、疾病の状況と、身体への影響等を記載する。 ●屋内の移動方法(独歩・つたい歩き・介助歩行・杖や歩行器の利用・車椅子介助等)は必須。 ●屋外に関連する改修を行う場合は、屋外の移動方法を必ず記載する。	福祉用具の現状の利用状況と 住宅改修後の想定		
		改修前	改修後	
介 護 状 況	●利用している介護サービスを記載する。 ●家族等による介護状況を記載する。(誰が介護を行っているのか。見守り程度なのか、生活上のどのような場面で介助を行っているのかを具体的に。)			
住宅改修により、 利用者は日常生活を どう変えたいか	●利用者が、住宅改修を行うことによって、生活のどこの部分(生活動作や趣味等)をどのように変えたいのか、あるいは、維持・継続するために行う改修であるのかを、具体的に記載する。 (取り戻したいこと。続けていきたいこと。新しく始めたいこと。現状を改善したいこと。) 例： 利用者のADLの具体的部分がどのように向上することを期待するか。 家族の介護状況がどのように変化するか。(どれくらい楽になるか) 利用者本人の日常生活や社会参加をどう変えていきたいか。 利用者本人が特別に望んでいることは何か。 など ※具体的な改修方針や改修項目は「理由書その2」に記載する。			